

特別展

幕末・明治の

Excellent techniques of metal crafts,
the late Edo and Meiji period

超絶技巧

世界を驚嘆させた金属工芸—清水三年坂美術館コレクションを中心に



中央：群鶏図香炉 正阿弥勝義作
 左右：四季花鳥図揃金具のうち目貫 鈴木美彦作
 清水三年坂美術館蔵

平成23年 4月13日(木) — 5月29日(日) 火曜日休館 但し 5月3日は開館
 5月6日は休館

開館時間=午前9時30分—午後5時(金曜日は午後8時まで)(ただし、入館は閉館の30分前まで)
 観覧料=大人800(720)円、高大生600(540)円

【常設展共通券】大人1,320(1,260)円、高大生940(900)円

※()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、大阪市内在住の満65歳以上の方(要証明証提示)、

障害者手帳等をお持ちの方(介護者1名含む)は無料。

イベント情報 (いずれも当館にて開催。詳しくはチラシ・ホームページ等ご覧ください)

- 「親子ワークショップ海老の自在置物を作ろう」 4月24日(日)、5月5日(祝)
- 記念シンポジウム「近代工芸と“地方”をめぐる諸問題」 5月8日(日)
- 学芸員による展示解説 5月22日(日)

【主催】大阪歴史博物館
 【協力】清水三年坂美術館



大阪歴史博物館
 Osaka Museum of History

6階 特別展示室
 〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32
 TEL:06-6946-5728 FAX:06-6946-2662
<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

電車・バスでお越しの方
 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅⑧号出口前
 (京阪電車ご利用の場合は「天満橋」駅乗り換え)
 大阪市営バス「馬場町」バス停前

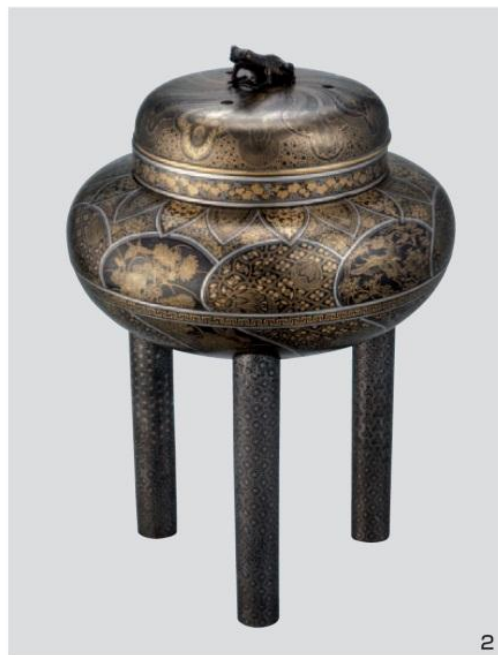
幕末・明治という時代は、日本の美術工芸の世界に大きな変革をもたらしました。中でも金工は、永く刀装金工を中心に発展してきましたが、幕藩体制の崩壊と明治9年の廃刀令によって大きな後ろ盾を失いました。しかし刀装金工家たちは、自らの技術を芸術世界に高めることでその生き残りを図ります。

幕末・明治の金工を代表する双璧・加納夏雄と海野勝珉、そして岡山の地で細緻な技を極めた正阿弥勝義をはじめ、塚田秀鏡、香川勝彦ら、刀装金工から彫金芸術の世界へと大きく飛躍した彼らのほか、鍛金・鍍金でも数多くの名工の力作が残されています。それらの作品は、モチーフに対するリアリズムの追求と精緻を極めた、まさに“超絶技巧”というべき驚きに満ちています。こうした作品は、政府が日本の国力を示すために出品した海外の博覧会でも披露され、諸外国を驚嘆させました。その中には、シカゴ万博に自在置物を出品し、その本物のような可動性で話題を呼びおこした大阪在住の金工・板尾新次郎も含まれています。

本展では、幕末・明治美術のコレクションで知られる清水三年坂美術館の所蔵作品を中心に、変革の時代に新たな芸術を目指し制作された金属工芸の名品約170件を紹介します。



1



2



●主な出品物

- 1.自在置物 鷹 板尾新次郎 明治時代 高さ41.0cm
- 2.草花文香炉 駒井 明治時代 高さ29.0cm
- 3.古瓦鳩香炉 正阿弥勝義 明治時代 高さ15.0cm
- 4.四季花鳥図揃金具 鈴木美彦 明治時代

※掲載作品はいずれも清水三年坂美術館所蔵

親子ワークショップ 「海老の自在置物を作ろう」

展示場で、自由に体を動かすことができる「自在置物」を見学した後、これと同様の構造を備えた海老のモデルを、アルミの薄板を使って工作します。 ※親子2人で1作品を制作します。

日 時：4月24日(日)・5月5日(木・祝) 午後1時～4時30分 ※両日の内容は同じです
 定 員：各回10組(20名)
 対 象：小学3年生～中学3年生のお子さんとその保護者
 会 場：大阪歴史博物館 6F特別展示室 および4F第1研修室
 参 加 費：材料費800円(但し、別途特別展観覧券も必要です)
 参加方法：往復はがきに ①住所・電話番号 ②同行する保護者の氏名、お子さんの氏名・学校名・学年、
 ③参加希望日を明記の上、返信面に返信先を記入し、申し込む。応募多数の場合は抽選。
 締め切り：4月1日(金)消印有効
 応 募 先：〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32大阪歴史博物館「海老作り」係
 注 意：必ず保護者とお子さんの2人1組でご応募下さい。単独のご参加はできませんのでご注意ください。



記念シンポジウム「近代工芸と“地方”をめぐる諸問題」

地方に残り名を残さなかった工芸家や中央へ出て名を残した工芸家、それぞれの生きざまや、今、郷土の工芸家を地元博物館が掘り起こす意義などについて、幅広い観点から意見交換を行います。

特別講演 村田理如(清水三年坂美術館 館長) 日 時：5月8日(日)午後1時30分～4時
 コーディネーター 山崎 剛(金沢美術工芸大学 准教授) 会 場：大阪歴史博物館 4階講堂
 パネリスト 佐藤寛介(岡山県立博物館 主任学芸員) 定 員：250名(当日先着順)
 内藤直子(大阪歴史博物館 学芸員) 参加費：300円
 中野朋子(大阪歴史博物館 学芸員) (但し特別展の観覧券もしくは半券呈示の方は無料)

展示解説

日 時：5月22日(日)午後2時より(30分程度) 場 所：大阪歴史博物館 6階特別展示室
 担 当：大阪歴史博物館 学芸員 内藤直子 参加費：無料(但し入場には特別展観覧券が必要です)

※イベントの内容は都合により変更される場合があります。ご了承下さい。

●博物館周辺地図



電車・バスでお越しの方
 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」◎号出口前
 大阪市営バス「馬場町」バス停前